

2月15日：流動性の増加とともに反発

水曜日は4日続落を受けて始まったが銀行株に牽引されて反発した。流動性も増加し、投資家のマインドも改善した。

ホーチミン取引所では、VN指数は0.92%上昇し1,048.20ポイントで引けた。同指数は過去4日間で3.2%下落していた。

市場にはポジティブな雰囲気が広がり、上昇銘柄は下落銘柄の3倍に上った。

出来高は5億86百万株、売買代金は9.9兆ドン（約4億21百万ドル）と流動性も改善し、ともに前日から47%程度増加した。

VN指数の上昇を牽引した10銘柄のうち6銘柄は銀行株だった。VPバンク(VPB)、BIDBバンク(BID)、アジア商業銀行(ACB)、ベトコムバンク(VCB)、テックコムバンク(TCB)、ベッティンバンク(CTG)などは0.5~3%上昇した。

ハノイ取引所ではHNX指数が2日連続で上昇し、207.97ポイント(+1.52%)で引けた。同指数は前日、0.2%上昇していた。

流動性も前日からほぼ倍増し、出来高は61百万株、売買代金は1兆ドンを超えた。

セクター別では金融情報サイトのVietstock.vnが算出している25業種のうち、24業種で上昇し、うち15業種は平均で1%超上昇した。

建設セクターはホアビン建設(HBC)が6.2%、Tasco JSC(HUT)が3.7%、Thanh Dat Investment (DTD)が4.1%、Dat Phung Group (DPG)が3.9%上昇するなど目立った。

バオベト証券によれば、国内外からの資金フローは不安定で、市場を支える材料も乏しく、社債の償還懸念や銀行株の調整懸念もあり、短期的には依然として下落リスクがくすぶっているとのことだ。

同証券のアナリストは、「現在は短期的な取引を好み、リスクをとれる投資家には適している。株式の組み入れを高位に保っている投資家は、反発局面で売却し株式の組み入れを減らすのを考えてもいいだろう」とデイリーレポートで述べている。

外国人投資家は売越しに転じ、売越し額はホーチミン市場で 3,280 億ドンに上った。売り越し額ではサコムバンク（SCB）が 1,770 億ドンと目立った。反対に、ハノイ市場では外国人は 53 億ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。